

10th ANNIVERSARY

にほん いさん にんてい 10 しゅうねん
日本遺産認定10周年

「鯨とともに生きる」

今年は、捕鯨が育んだ伝統・文化を今に伝える物語「鯨とともに生きる」が日本遺産の認定を受けて10周年となります。本特集では、この節目に改めて、熊野灘沿岸の市町に脈々と受け継がれてきた鯨と人との共生の歴史や、その豊かな魅力を紹介します。

ひがしむろしんこうきょくちいき か
東牟婁振興局地域づくり課 ☎ 0735-21-9649 ☎ 0735-21-9640
くまのなだ ほげい ぶんかけいしやうきやうぎかい
(熊野灘捕鯨文化継承協議会)

日本遺産とは

地域の歴史的魅力や特色を通じて、日本の伝統・文化を語る「ストーリー」を日本遺産として文化庁が認定する制度。地域振興につなげることを目的に平成27年に創設されました。

受け継がれる鯨と人の物語

新宮市・那智勝浦町・太地町・串本町は、古くから組織的な捕鯨「古式捕鯨」で栄えた地域です。鯨は単なる食材ではなく、余すことなく活用され、地域の経済や信仰、食文化を支える特別な存在でした。現在も、勇壮な「鯨踊」や伝統の鯨料理、捕鯨の歴史を物語る史跡が大切に受け継がれています。

主な構成文化財

◆新宮市 三輪崎の鯨踊

浜で踊った大漁祝いが起源と伝えられています



奈良県

三重県

和歌山県



◆那智勝浦町 塩竈神社のせみ祭り

鯨にまつわる祭りとして行われる例祭

◆串本町 河内祭の御船行事

装飾された鯨船が地域の誇りを伝えます



◆太地町 燈明崎 山見台跡

熊野灘を見渡せる場所に設けられた山見台跡で、ここから沖合の鯨を探しました古式捕鯨にとって最も重要な施設です

10周年記念行事

日本遺産認定10周年を記念して関連行事も開催しています。スタンプラリーやウォークイベント、公開セミナーなどを開催予定ですので、今に受け継がれる鯨と人の文化の息吹をぜひ現地で体感してください。

詳しくはこちら▶



能登半島地震で倒壊した住宅

特集 3

あなたの実家は大丈夫？

大切な人を守るための住宅耐震化

かくしちやうそんじやうたくたいしんまどぐち
図 各市町村住宅耐震窓口または
けんちくじやうたくか
建築住宅課 ☎ 073-441-3216
☎ 073-428-2038

耐震相談
窓口は
こちら



住宅耐震
補助制度の
詳細はこちら



家族で話し合いましょう！

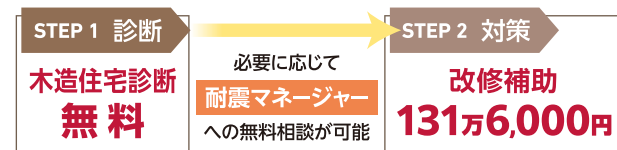
家族で顔を合わせる機会が増える夏休みやお盆。近い将来起きるとされる南海トラフ地震等の大地震への備えが急務となる今、住まいの耐震化について話し合う絶好の機会です。

補助制度を活用しましょう！

補助制度を活用すれば、少ない負担でも住宅耐震化を行えます。令和6年に発生した能登半島地震では、元日の地震発生であったため、帰省者も被害にあったと報告されていますので、大地震から命を守るため、住宅耐震化に取り組みましょう。

■ 耐震化の流れ

まずは住まいの耐震性をチェックし、耐震性が不足する場合は改修などの住宅耐震化を進めましょう。

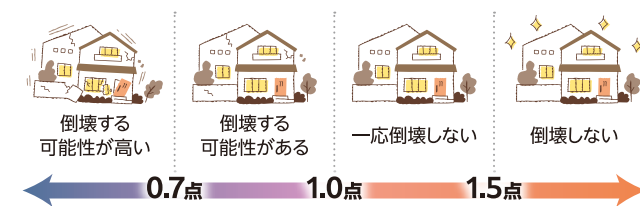


■ 耐震診断の補助対象

木造住宅：平成12年5月以前に建築されたもの
非木造住宅：昭和56年5月以前に建築されたもの

事業種別		補助額
耐震診断	(木造住宅)	無料
	(非木造住宅)	最大8万9,000円
耐震改修	一般改修型 (建替含む) (木造住宅、非木造住宅)	耐震評点を1.0以上に改修
	避難重視型 (木造住宅)	耐震評点を0.7以上に改修
	一階改修型 (木造住宅)	1階の耐震評点を1.0以上に改修
除却	(木造住宅) (非木造住宅)	除却して耐震性のある住宅等に移転 最大50万円

■ 木造住宅の耐震評点の考え方



■ 耐震ベッド・耐震シェルターの補助制度もあります！

補助要件	耐震診断の結果、評点1.0未満と診断された木造住宅
補助金額	耐震ベッド・耐震シェルターの設置費用等の2/3、 最大26万6,000円を補助



耐震ベッド

「耐震マネージャー」にご相談ください！

- 耐震診断の結果、耐震性が不足すると判断されたが、これからどうすればいいの？
 - どんな工事が必要で、どれくらい費用がかかる？
 - どこに改修工事を依頼すればいいの？
- などの悩みを専門家に無料で相談できます。

図 (一社)和歌山県建築士会 ☎ 073-423-2562